

女性の相談支援事業【三重県】

個別事業費	7,527 千円
交付金額	5,645 千円

地域の実情と課題

- ・新型コロナウイルスの感染拡大をきっかけに増加した相談件数は、以前として高止まりしている。
R5:2,390件 R4:2,203件 R3:2,243件 R2:2,587件 R1:2,003件
- ・また、一人当たりの面接相談回数が増加傾向にある
- ・コロナ禍で人との交流を制限されて以降、社会とのつながりを復活することができないといった悩みを抱える女性の増加しており、孤独や孤立を加速させないよう取り組んでいく必要がある。

事業の特徴

- ・相談支援体制の拡充
 - ◎女性総合相談における女性相談員の増員
 - ◎臨床心理士による相談窓口の新設
- ・不安や困難を抱えるものの相談をためらう女性等を支援につなげるため、気軽に参加しやすい女性向けサポート講座の実施
- ・平成6年より女性に対する総合相談を行い、男女共同参画や女性活躍の視点から相談支援を行える「フレンテみえ」に事業委託

事業の効果

- ・相談支援体制の拡充、女性が相談しやすい環境づくりを行うことができる
- ・気軽に参加できる講座を開催することで、電話相談をすることすらハードルが高いような孤独や孤立に悩む女性が、相談へつながりやすくなる
- ・相談窓口等を通じて、女性が必要な支援機関等（医療、福祉、雇用、警察等）につなげることができる

目的・目標

- ・女性の相談需要に対応すること
- ・気軽に参加しやすい講座の実施により、困難を抱えた女性を個別支援へとつなげること
- ①フレンテみえの女性相談相談（電話、面接、法律）の件数
目標：2,800件 実績：2,390件
- ②サポート講座の受講者数（アウトプット）
目標：90人 実績：124人

連携団体

三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」登録団体
女性の大活躍推進三重県会議 連絡会議
三重県男女共同参画審議会
三重県文化振興事業団評議員会

【参考】
三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」パートナーグループ
NPO、市民団体、子ども食堂等

今後の課題

- ・コロナ禍以降においても、一人あたりの相談回数や相談時間の増加、DV相談件数等が増加傾向にあるなど、女性への影響が今もなお続いている
- ・より深刻な悩みや複合的な悩みに対応するため、引き続き、質と量の両面から相談体制の拡充を図る必要がある
- ・引き続き、女性の孤独・孤立が加速しないよう、気軽に参加できる講座を実施することで、個別相談につながるような支援についても並行して取り組んでいく必要がある

事業の概要

①相談支援体制の充実

(1)相談員の増員

コロナの感染拡大を背景に大幅に増加した相談に対応するため、フレンテみえの女性のための電話・面接相談に対応する女性相談員を1名増員しました。

《相談件数 2,383件》

(2)臨床心理士による心理相談の実施

深刻な悩みを抱える女性に対して、臨床心理士が心理カウンセリングの手法を用いて、電話による相談支援を行う窓口（心理相談）を新設しました。

《相談件数 36件》

②女性向けサポート講座の開催

不安や困難を抱えているが相談をためらう女性を対象に、個別相談支援につながるきっかけづくりとするため、気軽に参加できるサポート講座を開催しました。《参加者》計124人

【テーマ】いまの自分をみつめる

Vol.1 自分をほめることが苦手なあなたへ Vol.2 人とつながることが苦手なあなたへ Vol.3 自分を癒すことが苦手なあなたへ

自分をほめることが苦手なあなたへ

2023年 8/20
13:30 ~ 16:30
会場 三葉福祉交流センター

講師 福田由紀子 さん

人とつながることが苦手なあなたへ

2023年 10/1
13:30 ~ 16:30
会場 三葉福祉交流センター

講師 堀井さとし さん

自分を癒すことが苦手なあなたへ

2024年 2/23
13:30 ~ 16:30
会場 三葉福祉交流センター

講師 澤高京子 さん